

## 2006(平成 18)年度 リカレント講座

講座のテーマ	これからの学校を考える - 子どもの学びの保障 -				
講座責任者	児童教育学科教授 中村 奈良江				
講座の概要	<p>現在揺れ動いている学校について、安全の保障、学びの継続の保障、環境の保障について講義とディスカッションを行う。</p> <p>大きく次の3つに分けて行う</p> <p style="padding-left: 20px;">子どもの安全をいかに守るか</p> <p style="padding-left: 20px;">学びの保障:実践から読み解く子ども理解</p> <p style="padding-left: 20px;">環境構成から見る子どもの学びの保障</p>				
開講期間・時間	各1時間程度 各日程毎に最終時間に1時間半のディスカッション有り。全講義は3日で終了する。				
受講対象者	教育に関わる人(近郊の幼稚園、小、中、高等学校の教員、非常勤の教員、事務、大学院生など)				
募集期間	4月10日(月)~7月21日(金)				
定員	30名	受講料	3,000円/1日 (1日毎申し込み可能)		
講座記号	月日 (曜日)	内 容		担当者	
	8月1日 (火)	子どもの安全をいかに守るか	1	震災から学ぶ安全教育	児童教育学科教授 吉岡 直子
			2	外国の事例と日本の安全事情	児童教育学科教授 松永 裕二
			3	安全を守るための実践	福岡市教育センター 教育情報課 囑託 井上 光枝
			4	ディスカッション	吉岡・井上・松永
	8月2日 (水)	学びの保障:実践から読み解く子ども理解	1	幼児教育の実践から	児童教育学科助教授 門田 理世
			2	小学校教育の実践から	児童教育学科教授 藤田 尚充
			3	中学校教育の実践から	児童教育学科助教授 渡邊 均
			4	ディスカッション	門田・藤田・渡邊
	8月3日 (木)	環境構成から見る子どもの学びの保障	1	心理面での学びの保障	児童教育学科教授 中村 奈良江
			2	授業での子どもの学びを保障する手立て	児童教育学科教授 田代 裕一
			3	授業の中での安全の心得と実践	児童教育学科教授 松村 敬治
			4	ディスカッション	中村・田代・松村
計(全 9 回)					
備 考					
講座の初日に開講式(オリエンテーションを含む)を行い、最終日に修了式を行う。					

日程	講義	講義内容の概略
8月1日	1 震災から学ぶ安全教育	事故、事件、災害。今、「安全」が教育の新たなキーワードとなっている。本講では、その問題状況を整理し、子どもと教職員、学校の安全を守るために何が求められているかを考察する。
	2 外国の事例と日本の安全事情	池田小学校事件（2001年、大阪府池田市）、コロンバイン・ハイスクール銃乱射事件（1999年、アメリカ）、バスラン学校占拠・人質事件（2004年、ロシア）など、世界で頻発している深刻な学校内児童殺傷事件をとりあげ、その原因と結果、対応策などについて検討する。
	3 安全を守るための実践	子どもを狙う事件が続発しているので、多都道府県の多くが、小中学校への防犯カメラの設置や「地域安全マップ」作成などの学校危機管理、子どもの安全確保のために予算を計上するようになってきた。また、地域住民の関心も高まっている。子どもの安全を守るための学校や地域での具体的な取組みを紹介しながら、今後の課題を探る。
8月2日	4 幼児教育の実践から	保育者が作り上げる保育実践を通して子ども達は何を学んでいるのであろう。そして、保育者は、子ども達の学びをどのように理解しているのであろう。この講義では、具体的な保育実践に焦点を当て、そこで展開される子ども達の学びの姿を受講生と共に読み取ってみたい。
	5 小学校教育の実践から	現在、多くの小学校において「学び」、「学びあい」の授業づくりが取り組まれている。それは多様な子どもが存在するクラスで、きめ細かく「一人ひとりを支援する」と同時に、子どもと子どもの「協同的」関係を育てるといふ、矛盾するような難しい課題を持った実践である。小学校で取り組まれているそのような授業を紹介・検討しながら、そこに子どもたちはどう現れてくるか、子どもたちの姿に迫りたい。
	6 中学校教育の実践から	既に数年にわたる学習経験を、異なる環境で育んできている多様な生徒を受け入れる中学校においては、学びの系統的発展をどう捉えその後の学習指導を展開するかは、過去においても重要な問題であった。教育課程の規準の大綱化が進み、個々の生徒そしてその学びの個性的な側面への視点が広がる現在、この問題に対して、教師はより一層深い認識を求められるようになってきている。この「学びの系統的発展」に実践研究として学校として取り組んだ事例を紹介しながら、幼・小・中さらには高等学校へと続く学びの系統性への視点について、受講生の皆さんと共有を図りたい。
8月3日	7 心理面での学びの保障	子どもたちの知りたいという欲求はどのようにして保障することができるだろうか？また、子どもたちが幼稚園や学校で楽しく過ごしたいという欲求はどのようにして保障できるのかについて事例をあげながら、可能性と問題点を探って行く。
	8 授業での子どもの学びを保障する手立て	現在、学校の授業において、特別な配慮を必要とする子どもや、情動的に不安定な子ども、などへの対応が課題となっている。また、個別指導の充実や、体験学習での安全確保なども一層、求められている。そこで本講では、授業での多様な子どもの色々な学びを保障するための具体的方法・手立てについて、国内外のケース（個別の「カルテ」づくりや、保護者・学生・専門家によるサポート活動、など）をもとに検討していきたい。
	9 授業の中での安全の心得と実践	学校における学びの保障は、「安全教育」が一つのキーワードになる。ここでは理科の学習を例に取り、教師が授業中に安全教育の一環として実験・実習の安全を確保することが、児童・生徒が日常生活の中で自ら進んで安全を守る習慣を身に付けることにつながることを大学での実践を紹介しながら解説する。

